

# 動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。先日の父の日、みなさんは「お父さんへの感謝の気持ち」をどのようにあらわしたのでしょうか。我が娘は「科学の祭典」の補助で、アジアゾウ「花子」の糞の展示解説を手伝ってくれて、とても助かりました。よい父の日を過ごしたと思っています。さて今日は、カバの父さん「ドン」くんの「健康診断」です。みなさんのアイデアを動物園へお願いします。



カバは、アフリカの川、沼、湖などに生息する体重約2.5 t の大型、夜行性の動物です。現地では近年、食肉用として狩猟されることが多くなり、その数も激減、ついにレッドデータブックに載ることになりました。

ところが、日本の動物園の「カバ事情」は、それとは逆で①子孫が生まれても引き取る動物園はない、②各地の動物園のカバは、同じ血統のものばかりで近親交配となってしまう、などの理由で厳しい繁殖制限が行われています。円山動物園では父の「ドン」、娘の「ザン」の2頭のカバが飼育されています。いつも別々に入り理由は①②の両方だということがわかりますね。

さて、この春から「山下」キーパー担当となり、「エサやり」のイベントですっかり人気者となりました。写真で比べてみてください。左上が「ドン」、右横が「ザン」です。どちらも迫力十分で食べ物と一緒に水が入らないように「舌」を利用していることもはっきりわかります。すごい環境適応です。でも、気にな



ることがあるのです。口の大きさが違いすぎると思いませんか。

実は、大きな父の「ドン」、キュートな娘の「ザン」、どちらも体重が不明なのです。あまりにも大きすぎて体重計がないのです。最新の飼育舎は、建てるときに組み込んであることが多いのですが、円山にはないのです。同じ理由で、今年還暦の「花子」の体重も正確なところはわかりません。どちらも年齢が年齢なので健康を保つために体重は重要なポイントになっているのです。(偶蹄目カバ科、長鼻目ゾウ科)



## アイデア募集 「ゾウ・カバの体重測定方法」

観察の話題にも出しましたが、体重測定ができずに困っている動物がいます。皆さんも毎年身長や体重をはかることで「成長の様子」をつかみますね。それが大人では「健康の様子」をつかむことになるのです。どうやってはかったらよいか、アイデアを動物園に寄せてください。保護者の皆さんからのアイデアも大歓迎です。もちろんはかりを貸して(寄贈して)くれるなどの情報も大歓迎です。

動物園を活用していますか。学習スポットとして、ちょっと賢くなれる動物園、そのイメージがなんとなく動き出しています。下の写真はふれあい教室の様子ですが、「だっこ=かわいい」だけでなく、心臓の動きや音、体温、これらの動物たちによってヒトが生き延びてきた



歴史など、感じてほしいこと(=ねらい)のあるイベントが盛り沢山です。期末テストが終わると午前・5時間日課の日も多くなります。動物園で学習することは、遊びとは違います。課題を持って来てくださいね。では、また。